

\ 災害発生 / 避難するのは 自宅？ 指定避難所？

大災害が発生したとき、自宅が安全な場合には、自宅にいたまま避難生活を送る「在宅避難」をすることができます。市内に開設される指定避難所での生活と比較して、有事の避難場所をあらかじめ検討しておきましょう。



まずは自宅の状況を確認… 在宅避難を検討しましょう！

◆ 慣れない避難所での生活よりも、自宅で避難生活をする方が安心で、過剰な配慮の必要もありません。

- 家具の固定やガラスの飛散防止対策をして、家の中の安全を確保しておきましょう。
- 飲料水や災害用トイレなどの防災グッズを1週間程度備蓄しておきましょう。
- 在宅避難をしているかたも、避難所同様に物資や食料などの公的な支援を受けられます。

防災本 25ページ

自宅なら人目も気にななくて安心だね！



自宅での生活が困難な場合は… 指定避難所へ

防災本 40ページ

◆ 避難所は誰が運営するの？

防災本 39ページ

災害初期の混乱時には

- ・ 地域の自主防災組織
 - ・ 避難所の施設職員
 - ・ 市の避難所担当職員
- が、協力して避難所を開設します。

⚠️ 市の避難所担当職員は、開設から3日間ほどの活動となります



開設後は各避難所で組織されている「避難所管理・運営本部」を中心に

避難者による自主管理となります。

食料・水・物資の配給、掃除など
避難されたかたがたで協力して行います

◆ 避難所で気を付けることは？

防災本 39ページ

エコノミークラス症候群

長時間、同じ姿勢で過ごさないように軽い体操やストレッチなど、適度な運動を行いましょう。

防犯対策

避難所では、自分の身は自分で守ることを心がけ、怪しい人を見かけたら、警察や施設の担当者に連絡しましょう。

感染対策も忘れずに！



周囲への配慮

避難所には、さまざまな事情のあるかたが避難してきます。

一人ひとりが周囲への気配り、プライバシーの確保に努めましょう。

衛生管理

室内は土足禁止にする、ごみ捨て場所、トイレ清掃の当番を決めるなどして避難所内の衛生環境を保ちましょう。



◆ 避難所には何を持っていくの？

防災本 38ページ

食料品や毛布・簡易トイレなどの生活用品の備蓄はありますが、生活する上で必要となるものは、人それぞれ違います。

自分に必要なものをまとめた**非常持出袋**を用意しておきましょう。

防災本を確認！

指定避難所以外にも、ハザードマップや災害時の備えなどを掲載しています。



配布場所

第一本庁舎、川口駅前行政センター、支所、公民館、消防局、南・北消防署



問い合わせ…危機管理課 ☎048-242-6357 FAX048-257-3535